

自然に優しい車で散策を

相模原市

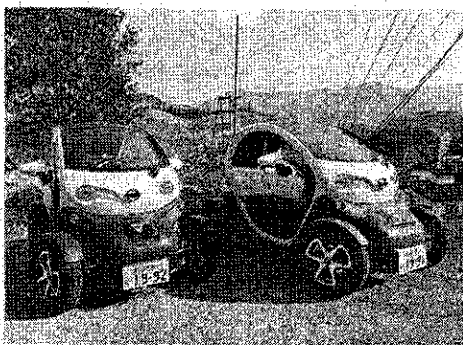
緑豊かな中山間地域の観光に超小型電気自動車(EV)を活用するため、相模原市は市内の藤野地区に2台のEV=写真、市提供=を導入し、無料で貸し出す実証実験をしている。11月末まで行い、本格導入に向けた検討をする。市の担当者は「人にも自然にも優しい超小型EVで散策してほしい」と話す。(村松権主磨)

超小型EV 無料貸し出し

藤野地区は市北西部にあり、山梨県に隣接。陣馬山(855m)や相模川などの自然に恵まれ、温泉もある。市は7月、地域活性化のため、JR中央線藤野駅近くにテレワーク拠点「森のイノベーションラボFUJINO」(愛称・森ラボ)を開設した。今月始まった実験は、市民以外も使える森ラボの利用者が主なターゲットだ。

使われる超小型EVは日産自動車の「日産ニューモビリティコンセプト」で、前後2人乗り。販売はされておらず、国土交通省から運行範囲などの認定を受けた車両を使い、各地で移動手段としての実証実験が行われている。約4時間でフル充電でき、航続距離は約100km。

市は昨年度、実証実験のために2台をレンタルで導入したが、新型コロナウイルスの



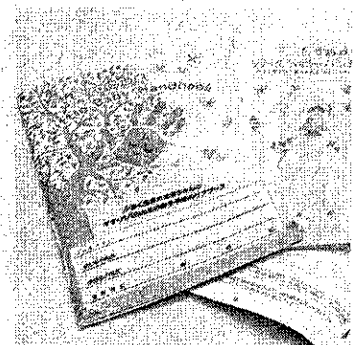
藤野地区で実証実験

感染拡大により開始が遅れ、市藤野総合事務所などで公用車として使っていた。

運転には普通自動車免許が必要で、市外での走行はできない。利用時間は祝日を除く月一金曜の午前9時～午後5時。1台につき1日1組限定で、当面は1日1台のみ運用する。

予約は、貸し出し業務などを無償委託する藤野交通=電話042(687)3121=へ。午前9時～午後7時に電話し、「超小型モビリティの予約」と伝える。

小さな



静岡県などが出しているリトルベビーハンドブック

県などによると、一般的な母子手帳は体重の記入欄が一から十のケースが多い。合併症の治療経過や、低出生体重児の日常の小さな変化を記録する欄も少なく、専用の手帳を求める声

県などによると、一般的な母子手帳は体重の記入欄が一から十のケースが多い。合併症の治療経過や、低出生体重児の日常の小さな変化を記録する欄も少なく、専用の手帳を求める声

で生まれた極低出生体重児の治療情報などカルテの一部を、県が提供する健康管理アプリ「マイMEIBYOカルテ」で保護者が閲覧できる取り組みを開始。ハンドブック完成後は、同アプリとの連携も考えているという。

鎌倉市長選 立候補予定者4人

市役所移転の是非は



鎌倉青年会議所のユークチューブ公式チャンネルで公開されている討論会の様子

青年会議所主催 討論会の動画

十日告示、十七日投票開票の鎌倉市長選の立候補予定者による公開討論会が開かれ、動画がホームページで公開されている。これまでに立候補を表明した四人が参加し、市政への思いや、争点の一つとなる市役所移

転の是非などについて議論を交わした。参加したのは、表明順にNPO代表の寺田浩彦さん(金)、元市議の中沢克之さん(金)、現職の松尾素さん(四)、市民団体事務局長の兵藤沙羅さん(四)。

動画は討論会鎌倉青年会議所ユークチューブ公式チャンネルで公開されている。

現在地から市役所移転に賛成、他対した。松尾素地での建て替え高き規制と埋蔵り難しい」と中沢さんは「税金はない」と財を指摘し、「洪水浸水地」「浸水区域に防転するのは論議」と訴えた。他に、新型コロナウイルスのあり方問題などについて。

新型コロナ

間で計六十人。同大は九月から、近隣住民ら向けに職域接種六千人への接種を見込んでいた。セルが発生したため余剰分を消化した。予約はコールセンター(641)29371へ。当日接種済証と二回目の接種券、身持参する。